

<名東すまあとデー ～11月を振り返って～>

7月よりはじまった「名東すまあとデー」ですが、児童相互の良好な関係性をつくることを目指し、本校の課題でもあった「あいさつ」に重点を置いて、今年度取り組んでいます。

11月は、10月に引き続き「相手の目を見てあいさつをしよう」というテーマで取り組みました。今月は、15・16日とPTAの「あい・あい・あいさつ運動」も行われました。寒くなってきましたが、子どもたちは元気にあいさつをする様子が見られました。また、自分から通りすぎる先生にあいさつをする児童も見られ感心しています。このような姿を称賛しつつ、一人一人が進んであいさつができる児童いっぱいの名東小になれるように子どもたちと一緒に取り組んでいきます。



<ICTを活用した取り組み～日々の連絡～>

児童1人1台端末が普及し、2年近くが経ちました。本校では、ICTの効果的な活用追究しています。学習面では、児童自身の苦手な内容をいつでも復習したり、学習した内容の理解度を確認したりできるAIドリル「キュービナ (Qubena)」を活用しています。また、互いの考えを授業内で共有できる「ロイロノート」を活用することで、学級皆の考えを共有し考えを深める場面も見られるようになりました。その日の学習内容を、児童に伝える「スクールライフノート」の活用も進めています。これにより欠席した児童も、その日のうちに、どのような学習をしたのかを確認することができるようになってきました。

タブレット端末を活用することで、様々な効果が見られる反面、操作トラブルなどもまだ見られます。これからの子どもたちの未来では、コンピュータがこれまでの文房具のように活用する未来があると考えます。未来で輝く子どもたちを育てていくためにも、ICTを効果的に活用していきたいと思えます。

